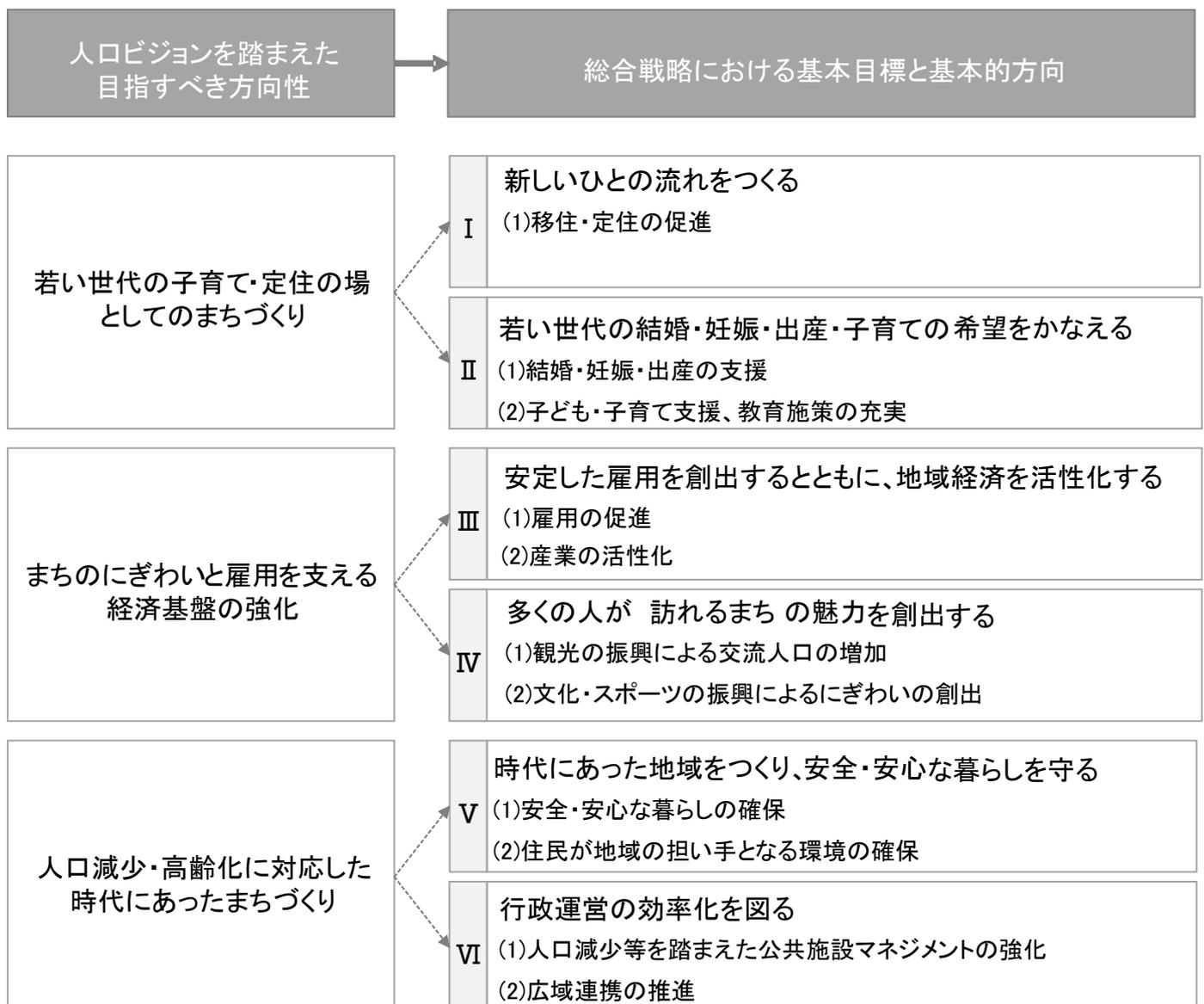


富田林市まち・ひと・しごと創生総合戦略進捗管理状況（令和元年度分）

市長公室 政策推進課

1. 富田林市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

- ・国は、平成 26 年 11 月に制定した「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、国、都道府県、市町村に対して、地方創生に向けた今後 5 年間の目標や施策等を示す総合戦略の策定を求めた。これを受け、本市では、平成 28 年 3 月に「富田林市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定した。
- ・総合戦略は、人口ビジョンの将来展望の実現に向けて、本市が平成 27～令和 2 年度の 6 ヶ年（昨年 1 年間延長）に取り組むべき施策について、客観的な指標とあわせて定めたもの。
- ・総合戦略では、人口ビジョンで提示する「3つの目指すべき方向性」を踏まえた6つの基本目標を定め、その実現に向けた基本的な方向を設定している。



2. 総合戦略策定後の本市の人口動態と特徴

- ・総合戦略を策定した平成28年3月末以前から人口減少が続いており、戦略策定後も、その状況に大きな変化は見られない。
- ・近年1,000人を下回っていた人口減少数が平成30年3月末に一時1,000人を上回ったものの、平成31年3月末以降は再び1,000人を下回る結果となっている。その主な要因は転出入の社会減が少なくなったことによるものと考えられるが、依然として1,000人に近い状況が続いている。
- ・出生数は600～800人程度で推移しており、自然増減においては死亡者数が出生者数を上回る状況に変化は見られず、高齢化率においても令和2年3月末の高齢化率が前年度を0.42%上回るなど、少子高齢化に歯止めがかからず上昇傾向が継続している。

【参考】富田林市人口動態

	H26.3末	H27.3末	H28.3末	H29.3末	H30.3末	H31.3末	R2.3末
世帯数 (戸)	49,877	50,133	50,322	50,582	50,763	51,099	51,456
人口 (人)	116,489	115,601	114,646	113,709	112,594	111,628	110,698
人口増減 (人)	△1,032	△888	△955	△937	△1,115	△966	△930
人口増減率 (%)	△0.878	△0.762	△0.826	△0.817	△0.981	△0.858	△0.833
高齢化率 (%)	25.44	26.56	27.54	28.31	29.00	29.63	30.05
出生数 (人)	716	780	734	716	706	618	681
死亡者数 (人)	1,128	1,089	1,101	1,118	1,158	1,199	1,249
自然増減 (人)	△412	△309	△367	△402	△452	△581	△568
転入者数 (人)	3,622	3,418	3,746	3,516	3,466	3,605	3,830
転出者数 (人)	4,242	3,997	4,334	4,051	4,129	3,990	4,192
社会増減 (人)	△620	△579	△588	△535	△663	△385	△362

3. 令和元年度取組の進捗管理

- ・総合戦略に基づく6つの基本目標に対して、施策の実施成果や進捗状況を評価し、次年度以降の施策の推進へと反映し、PDCAサイクルに基づく効果的な総合戦略の実施に繋げるために、総合戦略の進捗について、6名の有識者から意見を聴取のうえ、その方向性について点検した。

4. 基本目標にかかる外部有識者の個別意見（要約）

● 目指すべき方向性 「若い世代の子育て・定住の場としてのまちづくり」

基本目標Ⅰ 新しいひとの流れをつくる

基本目標Ⅱ 若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる

- ・コロナ禍後もテレワークは定着すると見込まれる。富田林市出身者など、富田林を知る人に戻ってきていただくことを視野に入れると良い。
- ・リモートワーク推奨により、移住する人が増える見込み。定住ポータルサイトはデザイン性も良く、必要な情報も入っているため、タイムリーに更新することを期待する。
- ・移住相談については、問合せフォームがなく、夜間や休日などにタイムリーに相談できない。また移住相談件数増加策が具体化しにくい中、KPIの再考が必要。
- ・定住ポータルサイトから、「子育てするなら富田林」というイメージが伝わりづらく改善が必要。
- ・各種メディア比率も変わってきており、テレビからYouTube等、動画の流れが顕著。
- ・ポータルサイト運営だけでは、情報に辿りつかないため、YouTube配信を行うなど、若い世代が目にするメディアに積極的に注力すべき。
- ・文教エリアとしてのポテンシャルは元々高いが、移住・定住については、学校環境に加え、生活面・子育て面において補助金や減税等の優遇措置が訴求力もあり効果的。

● 目指すべき方向性 「まちなぎわいと雇用を支える経済基盤の強化」

基本目標Ⅲ 安定した雇用を創出するとともに、地域経済を活性化させる

基本目標Ⅳ 多くの人が訪れるまちの魅力を創出する

- ・官民学の連携による具体的なまちづくりの中長期のビジョンが必要ではないか。
- ・地域外の団体や民間企業をうまく活用することが重要。
- ・地域活動に積極的に取り組む市民や団体との連携が重要。
- ・創業支援は雇用創出や地域活性化に寄与するため、引き続きの取組が必要。
- ・空家をシェアオフィスやテレワークで利用できないか。
- ・物流等の大学企業誘致による経済効果と雇用確保が期待できるため、そこを起点としたまちづくりが必要。
- ・観光については、連携地の明確化が必要。鉄道事業者との連携や近隣市との連携が重要。

- 目指すべき方向性 「人口減少・高齢化に対応した時代にあったまちづくり」
基本目標Ⅴ 時代にあった地域をつくり、安全・安心な暮らしを守る
基本目標Ⅵ 行政運営の効率化を図る

- ・地域活動に積極的に取り組む市民や団体との連携が重要。
- ・市民公益活動とその促進に関しては、達成度が比較的に高く、この間の取組は評価できる。
- ・地域コミュニティが成熟してきているため、高齢者や単身者のためのオンデマンド型コミュニティバスの運用実験など、今後に向けた取組を展開すべき。
- ・公共施設マネジメントについては評価できる。

5. 外部有識者の総合意見

有識者の一致した主な意見は次のとおり

地方創生の継続的な推進

- ・総合戦略の目標達成や地方創生の推進に向け、これまで様々な施策に取り組んでおり、KPIについては未達成のものもあるが、他市と比較しても十分健闘している。
- ・地方創生については、効果が発現するまでに時間がかかるものも多く、数年後やさらに先に成果を出す発想で取組を進めることが重要であり、また、市民や市職員に総合戦略の考え方が浸透しているかということも重要。
- ・KPIについては、「野心的」であることは重要なものの、一定程度の戦略的・具体的な取組を念頭におき、「現実的」な目標設定が必要となる。

6. 進捗にかかる検証（総評）

本市では、「富田林市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げた目標の実現に向け、様々な取組を実施するとともに、令和元年度においても地方創生推進交付金を活用した「農を活かした産業連携による仕事創出事業」に取り組みました。

戦略策定後5年目となる効果検証においては、KPIが未達成の取組はあるものの、地方創生は短期間で成果に繋がるものではなく、中長期的な視点で継続して取り組むことが必要であることから、今後においても切れ目なく地方創生の取組を進めていく必要がある。

令和2年度においては、第2期総合戦略の策定に取り組んでいるが、これまでの効果検証の結果を踏まえるとともに、SDGsや新しい生活様式への対応など、新たな社会の要請も視野に入れ、実効性の高い総合戦略を策定し、中長期的な視点で地方創生を推進していく。